

遠く隔たった世界の事象同士が複雑な連関をみせる現代社会において、その激動の最前線にあるのが都市である。そこに生きるわれわれにとって必要なのは、目の前の問題への対症療法ではなく、歴史的な視野をもった展望であろう。

このような問題意識にたち、都市史学会の第二回大会にあたる今回のシンポジウムでは、昨年度に引き続き「都市史の現在」をテーマとする。

今年度は日本、イギリス、イスラーム、ラテンアメリカの都市史研究の動向を報告いただく。

2014年度 都市史学会 大会 京都

記念講演 都市史への試み シンポジウム 都市史の現在 II

それぞれ対象とする時代も地域も方法論もさまざまであるが、個々の領域に閉じるのではなく、都市史にどのような方法的可能性があるか、最適都市の探求にどのような展望が拓けるかについて広い視野から議論することを目標とする。

今回の開催地京都は、日本の都市のなかでもとりわけ長い歴史を有する都市であり、都市史研究においても数多くの素材と視座を提供してきた。

この京都の地から、日本のそして世界の「都市史の現在」を見つめることにより、都市史研究の地平をさらに拓げていけるものと考ええる。

2014年12月13日 土 14:00—16:30 京都工芸繊維大学60周年記念館記念ホール
都市史学会総会

記念講演=都市史への試み | 西川幸治 (京都大学名誉教授) 【15:30開演】

司会=石田潤一郎 (京都工芸繊維大学) 終了後、17:00より懇親会を開催予定です (会費5,000円)

2014年12月14日 日 10:00—17:30 京都工芸繊維大学60周年記念館記念ホール

シンポジウム=都市史の現在 II 司会=三枝暁子 (立命館大学)

日本古代都市史 | 山田邦和 (同志社女子大学)

日本近代都市史 | 松山 恵 (明治大学)

イギリス都市史 | 本内直樹 (中部大学)

イスラーム都市史 | 長谷部史彦 (慶應義塾大学)

ラテンアメリカ都市史 | 加嶋章博 (摂南大学)

コメント=河角龍典 (立命館大学)・高木博志 (京都大学)・大橋竜太 (東京家政学院大学)・

三浦 徹 (お茶の水女子大学)・青井哲人 (明治大学)

13日の記念講演・懇親会、14日のシンポジウムは会員以外の方もご参加いただけます。なお、両日共通の参加費として2,000円を頂戴いたします。



京都工芸繊維大学60周年記念館
606-8585 京都市左京区松ヶ崎橋上町1
京都市営地下鉄烏丸線松ヶ崎駅下車徒歩8分、叡山電車修学院駅下車徒歩10分

お問い合わせ=2014年度都市史学会大会実行委員会 606-8585 京都市左京区松ヶ崎 京都工芸繊維大学建築学部門
中川理研究室気付 電話 075-724-7648 <http://suth.jp> convention2014@suth.jp

 都市史学会
Society of Urban & Territorial History